

「福祉への熱い想い」

職員はみんな熱い想いを抱いています。
その想いを少しだけ紹介します。

日々バタバタする毎日ではあるが、笑顔を忘れず利用者さんと生活していきたいと思う。
そして、この業種は魅力的で中毒性がある。

卒業して保育士になつたけれど、どうしてもその笑顔が忘れられず、障害者福祉の世界に。
気が付けば、はや10年。大変な事も沢山あるけれど、やっぱりこの仕事が大好きだな、きっと死ぬまで障害のある方と一緒に過ごしていくんだろうな、と漠然と考える。

支援方法を考える事に悩むことや上手くいかない事もある。
しかし、独自のものを考え、それが利用者にとつて生活しやすくなると、私自身も嬉しく感じる。

飽き性の私が初めて極めたい、
続けたいと思えたのがこの仕事でした。
正解のないこの仕事を
私もしく続けていきます。

楽しいと思い、仕事が出来ているのは、私に優しく、
笑顔で話しあし、接して下さる利用者様のおかげだと思います。

福祉に関わる仕事って良いなあ。

そう思いながら毎日働けることは私にとって幸せなことです。

利用者様を支援する仕事ではありますが、
利用者様に助けて頂く場面も多くあります。

伝える事が苦手な方々の想いを精一杯汲み取り、

より良い生活を送つてもらえるようになります。
私の仕事だと思っているとともにやりがいを感じています。

自分なりに考えて声かけや支援を行つていると、
上手くいったり、新しいかかわりが出来たりする時がある。

その瞬間がとても嬉しい。